# 既存活用の可能性検討手順

別紙１

学校カルテでは、A～Eの判定基準のみで解体（改築）・長寿命化・改修の判定を行っています。
＊高さ制限は許認可でクリアできる想定としています。

**検討スタート**

**既存活用**

**環境**

- A:日影・高さ制限の既存不適格が周辺環境に影響を及ぼしていない
- B:都市計画道路上の建物ではない
- C:ハザードによるリスクがない ①洪水・内水　②土砂災害 ③液状化
- D:隣地建物・施設の影響がない
- E:建物配置・計画上の課題がない

**性能**

- F:構造体の詳細確認
  - コンクリート強度
  - 中性化
  - 施工不具合
- G:対応コスト及び教育環境への影響度

**改　築**

No

No

Yes

**例外対応確認**

H:建物を保存する必要がある場合
例）歴史的建物　　その他

小中学校校舎では稀なケースと考えられます

I:【長寿命化】方針検討
- リノベーション
- 劣化対策

J:コスト想定 ← **方針判断** → K:①改築との比較（CO2排出量・人口動態・複合化）